

【フライングディスク競技規則】

(1) アキュラシー

- ア スローイングは、アキュラシーゴールから3m、5m、7m（参加申し込み時に選択する）離れたスローイングラインから連続10回の試技を行う。
- イ 試技の時間は選手が1投目のディスクを受け取ってから5分とする。5分以降の試技は無効とする。
- ウ 得点はディスクが地面や床面にふれずに直接ゴールを通過した回数とする。ただし、風などにより逆方向から通過した場合は得点とならない。
- エ 順位にあたっては以下のように順位を確定する。
- (ア) 順位は得点の多さで決定する。
 - (イ) 同得点の場合は、順次、得点を先にあげたものを上位とする。
 - (ウ) (イ)の方法によって1位、2位、3位が決定しない場合は、1セット（3投）の再投（追加試技）を行い得点の多さで順位を決定する。ただし、4位以下の者で同得点の場合は、再投は行わず、同順位とする。
 - (エ) (ウ)の方法によって再投を行った結果、同得点となり1位、2位、3位が決定しない場合は、(イ)の方法によって順位を決定する。
 - (オ) 再投は順位が決定するまで、最大5セットまで行う。
 - (カ) (オ)の方法によっても順位が決定しない場合は、同順位とする。

(2) ディスタンス

- ア 座位で競技する場合、イス等に座るための用具の高さは、クッションを含めて75cm以下とする。
- イ スローイングは1.6m×1.8mのスローイングエリアから連続3回の試技を行う。
- ウ 試技の時間は選手が1投目のディスクを受け取ってから3分とする。3分以降の試技は無効とする。
- エ 投げられたディスクの有効範囲は、スローイングラインの前方の180°以内とする。
- オ 測定は、1番遠くまで飛んだ試技のみ計測し、ディスクが最初に地面や床面に触れた点までとする。

(3) 共通事項

- 選手がスローイング中またはスローイング終了後にスローイングラインを踏んだ場合は無効とする。
- 無効の試技は計測しないが、1回のスローイングとして数える。